

にちにちこれこうじつ

「日日是好日～令和三年出逢い旅～」

北海道 天總寺住職 谷 龍嗣

期待と不安の新しい一年の「旅」の始まりです。

旅好きの私にとって、コロナ禍で普段通りに好きな場所に行けない悔しさと同時に、忘れられないのが旅先での「美しい風景」や「美味しい食材」との出逢いです。様々な出逢いは旅そのものの醍醐味の一つです。

『The journey is the reward (旅そのものが報酬だ)』これは、携帯電話の 아이폰を作ったスティーブ・ジョブズさんの言葉です。目的地も大事だが、旅そのものが報酬という事です。実は、この言葉の源には、彼がアメリカで出逢った禅の教えがありました。

彼は、アメリカの禅センターで一人の曹洞宗僧侶と出逢い禅を学びました。彼が世に出した商品の多くに禅の教えが生きているといわれています。

先程の「旅そのものが報酬だ」という言葉と同じ意味の禅語が『しゅしょういちによ修証一如』です。これは目的地に向かって一步踏み出したその瞬間が、もう既に悟りの境地にあるという意味です。しかし、この禅の教えやスティーブ・ジョブズ氏の考えは特別なものではなく、日常の中にこそあるのです。

先日、九十一歳になるお檀家さんのご自宅に行った時の事です。その方は「プランターでイチゴを作っては幼稚園に持って行くんだ。子供達はそのイチゴを食べる笑顔が本当に嬉しくて、子供の笑顔から元気をもらっているんだ」というのです。

子供たちと出逢い、無償の心で相手と接すると自然と子供の笑顔から幸せを感じられたのだと思います。

私たちは人生の幸せを求めて歩んでいる時が、その幸せの真只中に居るのかもしれませんが。そして「本当の幸せは得るものではなく感じるものなのだ」と気付かされました。

總持寺の御開山瑩山禪師さまは、「人は誰もがいのちをいかしきる『道』を歩める『器(存在)』なのです。かけがえのない今を大切に生きる日々が、あなたの『好き日』となるのです」(※「にんにんことごと どうき人人悉く道器なり、でんこうろく日日是好日なり」『伝光録』)と慈しみ深く示されました。

令和三年の旅をする皆様の日々が、「好き日」(こうじつ好日)でありますようお祈りしております。